

論文審査の要旨
(Summary of Dissertation Evaluation)

博士の専攻分野の名称 (Major Field of Ph.D.)	博士 (文学) Ph.D.	氏名 (Candidate Name)	黄 潔
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当		
論文題目 (Title of Dissertation) 授業という場における相互行為のメカニズム —中国の大学における日本語授業を分析対象に—			
論文審査担当者 (The Dissertation Committee)			
主 査 (Name of the Committee Chair)	教授	高永 茂	
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)	教授	溝 淵 園子	
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)	教授	今 林 修	
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)	教授	荒 見 泰史	
〔論文審査の要旨〕 (Summary of the Dissertation Evaluation)			
<p>授業という場における教授と学習は教師と学生，ならびに学生と学生の相互行為を通して実践される。その過程には，さまざまな言語的・非言語的な相互作用の資源が織り込まれている。本論文は，授業における相互行為の様相に着目し，応用言語学の立場から授業という場における教授・学習過程の様態や授業の構造基盤を解明しようとするものである。</p> <p>本論文は全8章で構成されている。</p> <p>第1章では，授業における相互行為の様相や授業のメカニズムを明らかにするための実証的研究の必要性を論じて授業のディスコース研究の系譜を概観し，本研究の課題や位置づけについて述べる。同時に本研究が分析対象とする中国の大学における日本語授業の実施状況について説明する。</p> <p>第2章では，本研究で採用する理論的枠組みについて論じる。次いで，分析対象とするデータの収集方法や概要およびデータを文字化する方法について説明する。</p> <p>第3章では，授業の開始部に着目し，参与者間の相互作用の観点からデータを分析する。分析の結果，(1) 日本語授業の開始部では7種類の構成要素が観察され，授業における出現順序にも一定のパターンが見られること，(2) 参与者の授業における最初の行為から授業の主要部の切り出しまでの間に，教師と学生の言語・非言語行為によって協働で構築されるプロセスの存在することが分かった。</p> <p>第4章では，授業における相互行為の展開構造に関して，「IRF連鎖システム(I: Initiation; R: Reply/Response; F: Feedback/Follow-up)」という理論を用いて分析を行う。分析の結果，6種類の基本形態と3種類の展開形式が抽出された。授業における相互行為はその6種類の基本形態や基本形態どうしの様々な組み合わせ，さらに，それらと3種類の展開形式との組み合わせによって構築されていると考えられる。</p> <p>第5章では，授業内の相互行為における参与フレーム(参与者間の役割関係)に着目し，その共時態および通時態について分析を行う。具体的には，「隣接ペア」ならびに「話段」という分析単位で，参与フレームのパターン(11パターン)およびその形成要因(3つの要因)と移行形式(4種の移行形式)を明らかにした。</p>			

第6章では、授業内相互行為の「局所的な管理運営のシステム」である「順番交替」に着目して分析を行う。特に、相互行為の展開に影響を及ぼす、能動的な行為である「教師による順番譲渡」および「学生による順番獲得」に関して分析する。

第7章では、授業の終了部に着目し、授業を終了するプロセスおよび参加者が相互作用を停止させるために用いる手続きに関して分析を行う。教師は各局面における学生の非言語行為を手がかりに授業終了の進捗状況を適宜調整していることがわかった。

第8章では、本論文の成果をまとめる。さらに、今後の研究課題を挙げ、研究の展望について触れる。

本論文は「授業」という場を多層的の局面によって構造化されている過程と見なし、実際の授業から得られたデータを言語・非言語の両面から分析している。論文の書式に関しては改善すべき箇所も残っているが、論理的でよく整理された内容になっている。授業における教授・学習の様態や授業展開のメカニズムを相互作用の観点から可視化している点が高く評価できる。本論文は授業という限定された場に関する研究ではあるが、そのほかの会話場面を分析する際に応用できる知見も多く含まれており、今後の発展が大いに期待できる研究となっている。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（文学）の学位を受ける十分な資格があるものと認める。

備考 要旨は、1,500字以内とする。

(Note: The summary of the Dissertation should not exceed 500 words.)